

島しょへの赴任を考えている方へのメッセージ【中学校】

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

| 町村名 | 区分 | 職層 | 性別 | 年齢 | メッセージ |
|-----|-----|----|----|-----|--|
| 大島町 | 公募 | 教諭 | 男 | 30代 | 教師としての力を試す場としては、とても恵まれた環境であると思います。島嶼部だからこそ、少人数だからこそできる教育があると思います。嫌々異動する(させられる)のではなく、一人でも多くの方が希望して島嶼部へ異動されることを願っています。しかしながら、精神面でのタフさや体力面など、要求されるものも多いと思います。それらを自分を鍛える・磨くチャンスととらえ頑張ってください。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 男 | 20代 | 島しょ地区というイメージで、ゆっくりできると感じているなら、誤っているイメージである。仕事をし、責任を果たすという気持ちをもって来ててください。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 女 | 30代 | 長い教員人生の中で、一校くらい赴任しても損にない。通勤電車でストレスためるより、島でのびのび過ごすのも良いですよ。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 男 | 20代 | 生徒1人1人に向き合うことができ、教材研究等に費やせる時間が確保できるので、島で学んだことは、この先の教員人生で必ず財産になります。長い人生の中で数年間を島で送ることができるのは、本当に貴重な経験です。 ただ、内地の多忙な環境から逃げるために島しょへ異動するつもりなら、おすすめはしません。教員が少ない分、1人当たりの仕事量が多いですし、学校行事に加え、島の行事もあり、時期によっては内地より多忙になります。 将来、島外に出しても恥ずかしくない生徒を育てるという使命感をもち、保護者や地域との密な連携が取れる方には本当におすすめです。 |
| 大島町 | 公募 | 主任 | 男 | 30代 | 島しょの学校は、楽なイメージとは違い、忙しいと感じることの方が多いです。しかし少人数で、素直な生徒が多く、とてもやりがいがあります。先生方の人間力、指導力のある先生はその力を発揮できる環境だと思いますし、また人間力、指導力を高めたい先生方にも向いていると思います。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 女 | 20代 | 島での生活に不安もあると思いますが、「誰もができない経験」です。島での経験は視野を広げてくれます。ぜひ、島の教員を一度は経験することをおすすめします。 |
| 大島町 | 公募 | 主任 | 男 | 40代 | 少しでも希望する気があるならば、一度は赴任し生活してみることをお勧めします。「島しょ」とひとくくりになることもありますが、実際の生活は各島によって違います。また、不便と感じることも人によって違います。ですが、ここで生活をし授業することがマイナスということはありません。教科の特性もありますが、何かしら得ることはあるはずですよ。そういう面では、区や市の異動とあまり変わらないのでは、とも思います。 ただし、ご家庭があり、お子さんがいる方は考慮したほうが良いと思います。待機児童がないので幼稚園の待遇は良いです。ですが高校受験を考えると、なかなか周りの情報が入らないので不安があるかと思います。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 女 | 30代 | みなさん温かく迎えてくれます。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 女 | 20代 | 私が感動し、感銘を受けた言葉が、「置かれた場所で美しく咲く。」です。 自分では子どもも環境も配属先も何もかも選べません。どんなに理不尽な人事でも、自分が受け入れられなければ、辛い気持ちで何もかもうまくいかないものです。様々な感情を乗り越え、心の整理がうまくつけられることを願っています。(偉そうに言っていますが、私自身かなり時間がかかりました。)赴任してこられる方が、自分を取り戻し、先生らしく自分の目指す教育を全力でできることを祈っております。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 女 | 30代 | まずは、実際経験することが大事だと思います。「案ずるより産むがやすし」です。 着任したら居心地が良くて、都内に異動する方が不安になるかもしれません。 島での経験が自分の力となることは間違いないので、迷っているなら島に来た方が良いような気がします。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 男 | 20代 | コンビニや様々な娯楽施設等を欲しがれば何もないと感じますが、島にあるものに目を向けると本当に様々なものがあります。楽しく過ごすことが肝心だと思います。 |
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 女 | 20代 | 先生方の島しょでの経験がすばらしいものになるように、赴任に際しては、いいところ、不便なところなど、実際に赴任された先生から生の情報をよく集めて、決められるとよいと思います。 島しょでの生活に不安を感じたり、戸惑ったりすることもあるかもしれませんが、都内と比べて、人と人の距離が近くなる分、人と人のつながり、信頼関係を心から感じるができます。 子どもたちはとても素朴で、時間をかけて愛情を注いだ分だけ、信頼関係が深くなっていくことを実感できます。また、島に異動した先生同士は、学校の中だけでなく、私生活でも助け合い、支え合って、「仲間」と呼べるような関係を築けると感じています。 |

島しょへの赴任を考えている方へのメッセージ【中学校】

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

| 町村名 | 区分 | 職層 | 性別 | 年齢 | メッセージ |
|-----|-----|----|----|-----|---|
| 大島町 | 公募外 | 教諭 | 女 | 30代 | 自然の中で、丁寧に生徒と関わって働きたい先生にはおすすめです。 あと、我が子と一緒に時間をたくさん持って子育てしたい先生にもおすすめです。 私は島で三人産んで育てて働いていますが、大島でなければ三人目はあきらめていたかもなあとは思っています。 |
| 利島村 | 公募 | 教諭 | 男 | 20代 | 自分のキャリアプラン、家族計画などが島に合っていると感じるのであればおすすめです。自分から一歩踏み出してみてもはどうでしょうか。 |
| 利島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 20代 | <p>全校生徒3人の学校(赴任当時)。いつか映画で観た、どこかの山間地の小さな小さな学校でももっと多くの生徒がいたように思います。赴任した当時、教員になって4年目にして、すべてのことが「初めて」の連続でした。嬉しいことも、大変なことも、全部ひっくるめて「初めて」。地域住民が、みんな顔なじみであるということ。毎日全校朝会をして、全校児童生徒と毎朝必ず顔を合わすことができること。文化祭や運動会などの学校行事には村の人たちが多く参加して盛り上げて下さること。食べられる植物が道ばたにたくさん生えていること。荒れ狂う波の上に美しい虹がかかること。研修に参加するのに泊まりがけでなければいけないこと。海に囲まれているのに魚が売っていないこと。肉は冷凍でしか手に入らないこと。郵便局や商店など、生活の中で行く先々、ほぼすべての場所に保護者がいること。中学校の教員としては、小学生との関わりが日常の中に溶け込んでいることは実に新鮮な、嬉しい「初めて」でした。</p> <p>最少で1人の教室での授業を通して、一斉授業とはまた違った教え方を学ぶことができました。小学生にモノゴトを説明することを通して、分かりやすく話すために必要なことを学びました。食料の価格が少し高く、種類も少ないので、料理の工夫の幅が広がりました。釣りをして、獲れたての新鮮な魚を食べたくて、魚をさばく技術が身につきました。運動不足を解消するために走り始めたら、長距離走のおもしろさを知りました。広い空を眺める機会が増えて、空の表情のバリエーションと日の入り日の出時刻を意識するようになりました。真っ暗で静かな夜を迎える度に「静寂」を感じるようになりました。「なにもない」がある、この島の魅力は語り切れません。</p> <p>利島で生活する中で、感覚が研ぎ澄まされて、今までできなかったこと、気が付かなかったことが、できるように、気が付けるようになりました。できないことの多い「不便な」島での生活を通して、できるようになったことがたくさん増えたことが、私にとってはとても幸せなことです。そしてさらに幸せなことに、こんな未熟な私を、いつも笑顔で「先生！」と呼んで手をつないでくれるかわいい子どもや、あたたかく接して下さる村の方たちが、なによりこの島の宝物で、そんな素敵な宝物は、これからの人生の中で代えがたい私の宝物になると思っています。</p> |
| 利島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 30代 | 初めは不安もありましたが、赴任してみれば不安に感じていたこともひとつひとつ解決していくことができました。学校現場は、内地の異動先と同様で、楽しいこともあれば大変なこともあります。ただ、教員同士の連携は深いので、いろいろと教えてもらったりして助かります。狭いコミュニティなので、周囲の人々と良い関係を築こうとする姿勢が大切だと感じています。 |
| 利島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 20代 | <p>私も島しょへの赴任を希望した1人でした。(公募ではなく、異動希望の申告欄に記入しました。) 前任校では、私の周りに島しょ校経験者がたくさんいらっしゃったので、私は行く前に情報を集めました。1人の時間(プライベート)がないという話も聞きましたし、そのような印象をもたれているかもしれませんが、落ち着いて自室で生活できる空間を作ることができます。</p> <p>利島は伊豆七島の中でも、特に小さくて交通事情や買い物などの面で利便性が高いとは言えませんが、なければならぬようにかなりますし、島の先生方はいろんな面でバックアップして下さいます。先生方が作って下さった島のパンフレット「利島へこうやい」を頼りに、引っ越しの準備をしました。3月上旬頃に行われる島しょ赴任者説明会で、具体的なことは分かってくいと思ひます。</p> <p>学校生活ですが、子ども達は皆素直で、のびのびと学習活動に励んでいます。一方で、島という環境上どうしても人間関係は限定的になってしまいます。教員もですが、子どもは特に、多くの人間との関係の中で、多様な価値観を学んでいく必要があります。教員自らがいろんなエピソードを伝えたり、話し合い活動に参加し、「なぜ？」を投げかけていったりすることが大切なことだと感じています。現任校と環境はがらっと変わるかと思いますが、これまで積み重ねてきた教員としてのスキルは必ず生かれます。</p> <p>最後になりますが、このメッセージを読んで、島しょ勤務への1歩を踏み出してくれる方がいらっしゃれば幸いです。</p> |
| 利島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 50代 | 島と言っても、いろいろ、「利島、御蔵島、青ヶ島」と「大島、八丈島」では全く違うと思って良いでしょう。 どこの島でも3年は在島するので、その島での楽しみを見つけることが大切です。 究極は人間関係ですが、島によってはプライベートと校務が近いと思ってしまうことも多いのでこの点はうまくやりましょう。 |

島しょへの赴任を考えている方へのメッセージ【中学校】

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

| 町村名 | 区分 | 職層 | 性別 | 年齢 | メッセージ |
|------|-----|----|----|-----|---|
| 新島村 | 公募 | 教諭 | 女 | 20代 | 島によって条件や環境も様々なので、事前にきちんと理解しておくことが大切だと思います。また、島に赴任する以上、天候や島の行事によって、欲しいものが手に入らなかったり、自分の都合で離島できなかつたりということがあります。「これが島の生活だから仕方ない。」という気持ちが持てるといいと思います。 不便な点がないとは言えませんが、それ以上に楽しみややりがいも多いです。島での生活を楽しまうという気持ちが何より大切だと思います。 |
| 新島村 | 公募外 | 教諭 | 女 | 20代 | 私は、島しょに来て、考え方が変わりました。赴任前は変に仕事に関して自信をもっていましたが、ここに来て、教育に対する考え方も変わり、人を見る目も変わり、前の自分の未熟さが恥ずかしいほどです。ここでしか学べないことがたくさんあります。ゆったりした大自然の中で、さまざまな教育の在り方、考え方にふれて、自分の時間をしっかりとって、自分を見つめ直すのに良い時間となると思います。3年間は思ったよりあっという間です。 |
| 新島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 30代 | 内地の学校とは違った経験ができる素晴らしい場所だと思います。 |
| 新島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 30代 | 私は島しょ赴任を希望したわけではありませんでした。実際に島に来てみて、魅力ややりがいがたくさんあると思いました。島しょ勤務は誰でもできる経験ではありません。せっかく東京都の教員になったのですから、新しい経験ができる良いチャンスととらえていいのではないかと思います。生活が不便な点も、仕事のやり方が大きく異なる点もありますが、それに倍する魅力が島にはあると思います。 |
| 新島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 50代 | どこでもがんばることがある。その地域を好きになってほしい。 |
| 新島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 20代 | 私は島に来てよかった。これからも関わっていきたくて思っている。 |
| 新島村 | 公募外 | 主任 | 男 | 30代 | 希望せずに赴任した場合も気持ちを切り替えて前向きに仕事に取り組んでほしい。 |
| 神津島村 | 公募 | 主任 | 女 | 30代 | どんな職業、職場でも、思ったようにいかないこと・思いがけずうれしいこと、いいこと・悪いことはつきものです。様々な物事について、自然に囲まれ、シンプルな生活を送る中では、都会にいる時とは受け止め方も違って、余裕を持って見つめられるのではないかと思います。 |
| 神津島村 | 公募外 | 教諭 | 男 | 30代 | 内地のマンモス校の忙しさに比べると、生徒数も少なく、単純に楽な印象を受ける方も多いかもしれませんが、教員同士で過ごす時間が多く、一人一人が上手にストレスマネジメントできないと、内地の多忙さとは違った種類の大変さがあるかもしれません。 美しく、時に厳しい自然環境や、素直で純粋な生徒たちから、新たにたくさんのことを学ぶことのできる人としての謙虚な姿勢があれば、こんなに素晴らしい環境はないと思います。 |
| | 公募 | 教諭 | 女 | 40代 | 児童・生徒ひとりひとりを丁寧に見ることができ、教材研究する時間があることが何より教員として嬉しいことだと感じる日々です。進学で島を出る児童・生徒のためにどのような力をつけさせてあげたいかを考えて取り組めることにも魅力を感じます。 島にはないものもたくさんありますが、ないからこそ、あるものの有り難さを感じられることも日々あります。島に暮らす児童・生徒、そして先生方から影響を受けることも多々あります。この島には私しか、この教科を教えらる人がいないことを考えると、改めて教員として人の役に立てることが生きがいのひとつだと感じられます。 |